

五十周年記念事業について



尚友会会長

岸本 大三郎

いよいよ母校が創立五十周年を迎えます。四月八日の第五十一回入学式には新制服を身に着けた新中学生、新高校生が顔を揃え、胸元のエンブレムには校章と共に「Noblesse Oblige」の理念が記されていました。今年から中学入試制度の改革を行い、金蘭千里学園の実像を積極的に受験生や関係者に伝える活動も進めており、受験者数の大幅な増加という成果も現れています。創設時に人間形成の道場として「私

塾」の理念を掲げ、数多くの優秀な人材を輩出してきた本学園ですが、社会・環境の変化に対応しさらに魅力ある学園生活のもとで人間形成の場として誇れる教育システムを完成するため、「革新」が断行されることを期待しています。尚友会だより(号外)で「特別寄附のお願い」をお送りしています。母校の五十周年記念式典(十一月二十日(金))に向けて皆さんのご協力を宜しく願います。

「ホームカミングデイ」は例年通り六月二十日(土)に開催されますが、部活動の紹介や在校生の皆さんとの交流など特別企画を準備しています。金蘭千里学園の「革新」がどのように進んでいるのか皆さんの目と耳で確かめてください。お待ちしております。

卒業生に支えられて五十年

— 継続と進化 —



学校法人金蘭千里学園 理事長
金蘭千里高等学校 中学校 校長

辻本 賢

平素は、尚友会の皆さまには、法人の役員、学校医、キャリアー教育の講師など、本校教育のために多大なお力添えを頂いています。厚くお礼を申し上げます。

尚友会新入会員は一七一名で、その大学の進学先は各人の努力が生かされた立派な成果でありました。中一生は優秀な一八七名を迎えています。今年も兄弟姉妹、卒業生のお子様を多くお預かりすることができまことは、本校教育を評価して頂いているものと大変嬉しく思っています。

本校は、建学の精神「塾・道場」＝授業が教育の中核、校技男子サッカー・女子バ

レーボール、野外活動を軸とした学校運営を、ハイレベル、ハイテクオリティな教育の提供に努めて、コミュニケーション能力(総合的な人間力)の育成を図るために、継続的に種々の改革を実施してきました。さらに、昨年、創立五十年を機に、金蘭千里の伝統を継承しつつ、ワンパッケージで改革を進めることに決意しました。それらは、入試制度、部活動、高中祭など多岐にわたっており、今年度中一生、高一生は新制服、上級生はおなじみの制服で登校しています。この二年間は、制服が併存する形です。仲間意識を持ち、美しく着こなしてくれることを期待しています。

尚友会が、創立五十周年を記念して、寄付を募られます。ただただ有り難く感謝しております。

・グラウンド購入につきましては、動きがありません。

・金蘭千里中・高等学校への入学や転入学につきましてもご相談下さい。

卒業生にインタビュー

今後、ホームカミングディにて、会長からインタビューをご依頼します。ご協力の程、宜しくお願いします！

「金蘭千里での6年間」

48期卒業生 重松 直樹氏 (神戸大学法学部)

金蘭千里で過ごした6年を振り返ると、本当にあっという間に過ぎ去ってしまったように感じます。しかし様々な経験をし、多くのことを学ぶことが出来ました。ほぼ毎日行われた20分テストも、入学当初は中々慣れることができませんでしたが、次第にテストがあるのが当たり前となり、こつこつ努力する習慣が身に付きました。行事では、高中祭や徒歩訓練、海外研修等、どれも思い出深いですが、僕の中ではキャンプが一番印象に残っています。中学生の間は、やるべき作業を時間内に終わられず叱られてばかりでしたが、学年が上がるにつれ要領が良くなり、班員同士、計画的に分担して終わることが出来た時は嬉しかったです。キャンプでの炊さんは、決して毎回上手く出来たわけではありませんが、みんなで協力して一生懸命作った分、大変おいしく感じました。このような金蘭千里での思い出は、僕の一生の宝物となり、これからも色褪せることは無いと思います。

「金蘭千里で得られたもの」

48期卒業生 新谷 夏海氏 (京都大学教育学部)

6年間金蘭千里にいて、私が一番思い出に残っているのは、バレーボール部員として過ごした3年余りのことです。今より部活の種類が少なく、運動部に入ることは決めていたので、大して深い考えも無く入部しました。最初は体力的にきつく、初めて経験する上下関係の厳しさにも戸惑い、辞めたいと思う毎日でした。しかし最終的にはキャプテンにまでなり、完璧では無いにしろ部活を全うすることが出来ました。厳しい辛いのは嫌でしたが、多分それ以上にバレーボールと、部員のみんなのことが好きだったんだろうと思います。この部活の経験は他の場面でも生きました。根性がついたことで、受験勉強もほぼ気合いのみで乗り切ることが出来ました。先輩・後輩とのコミュニケーションの取り方や仲間との協力精神は、部活をしていなかったら得られなかったものだと言実感しています。私は金蘭千里という素晴らしい環境の中で、友人との信頼関係を育めたこと、自分にとって大切なものを見つけることが出来たことを、本当に幸せだと感じています。